



明日のなめがた

Tschiura Kyodo Hospital Namegata District Medical Center



病院長
亀田 尚徳

新年のご挨拶



の関係者と連携をスムーズに行えるように、努力していきます。

あけましておめでとうござい
す。本年もよろしくお願い申し上げ
ます。

昨年3月より地域包括ケア病棟を
開設いたしました。先行して開設し
た回復期リハビリテーション病棟と
もに、亜急性期回復期の患者さまを
支援する病棟です。少子高齢化に
よって高齢者医療の充実が必須の昨
今にあって、急性期医療が一段落し
たのちに、退院までの支援やリハビ
リが必要な方にご利用いただいでお
ります。医療的サポートのみならず、
社会福祉士が窓口になる社会的支援
への橋渡しや、看護師、リハビリス
タッフが中心となって患者さま個々
人の身体能力認知能力に合わせた、
適切な退院支援を充実いたしました。
地域の介護施設と連携をスムー
スにするための介護スタッフと当院
の職員で行う支援会議も行っており
ます。また、現在訪問リハビリの準
備と平成31年度からスタート予定の
訪問看護ステーションの準備もす
めております。今後、より一層、地
域医療、リハビリ、在宅復帰支援が
必要な方々に、行政や介護施設とそ

の関係者と連携をスムーズに行える
ように、努力していきます。

一方、急性期医療の充実も必要で
す。茨城県は人口減少とはいえ、急
性期医療を必要とする高齢の方は15
年程度は増加していく推計となつて
います。鹿行地域は既に高齢化率33
パーセントで、当院の入院患者さん
の平均年齢も年々上昇傾向です。当
院へ救急搬送され入院される方は、
心不全、肺炎、尿路感染、胆道系感
染、骨粗鬆症にともなう骨折などで、
緊急の治療・手術を要する患者さん
です。今後も救急医療の充実をはか
るため、医師確保の取り組み、土浦
協同病院との連携強化、鹿行地域の
医療機関との連携をスムーズに行え
るよう努力していきます。当院は
総合病院でありますが、在籍してい
る常勤医師の専門領域は限られます。
その中でも、リウマチ膠原病内科が
3名、整形外科が私を含めて4名と
なり、運動器疾患や外傷の治療手術
リハビリが充実しております。白内
障の手術をはじめ眼科の手術治療も
充実してきております。生命予後に
関わる、脳神経外科は当院と土浦協
同病院との連携で急性期から回復期
までをカバーしております。循環器
科も筑波大学からの医師による外来
診療と、交代で当院にこられる常勤
医で虚血性心疾患の検査や不整脈、
心不全の治療とその後の外来管理を

担っていただいております。

人口減少、少子高齢化、医師の偏
在、など医療を取り巻く環境は日々
変化しており、地域医療を実践しな
がら、これからの社会的変化に対応

新年のご挨拶



看護部長
鳥畑 好江

新年明けましておめでとうござい
ます。

地域の皆さまにおかれましては、
良き新年をお迎えのこととお慶び申
し上げます。

平成30年4月より看護部長を拝命
いたしました鳥畑でございます。

昨年は、3月に地域包括ケア病床
から移行して地域包括ケア病棟49床
を開設いたしました。高齢化が進む
鹿行地域のニーズをふまえ、患者さん
やご家族の退院に対する様々な問題
や不安に対応できるよう、医師・看
護師・リハビリ担当者・社会福祉士・
事務との多職連携強化に努め、支援
を行なっております。また、10月か
らは医療行為が必要で福祉介護施設
でのショートステイが受けられない方
を対象とするレスパイト入院の受け
入れを開始し、在宅で介護されてい
るご家族の支援が可能になりました。

できるように、日々努力していきま
す。これからも皆様のご指導をよろ
しくお願い申し上げます。

さらに10月から患者サポート体制の
充実に取り組み、患者さんやご家族
からの疾患に関する質問や生活上の
不安など相談に応じております。そ
の他、安心できる医療・介護の充実
をめざし、行方市主催で、患者さん
に関わる様々な職種の方々と当院職
員との在宅支援・介護推進合同会議
を当院で開催し、顔の見える関係づ
くりを進めております。

今年も、訪問看護ステーションの
開設を進めており、さらに地域に根
ざした看護を展開して行く予定です。
急性期・回復期・地域包括ケア病棟
を有する当院の強みを生かし、地域
の皆様信頼される看護が提供でき
るよう、看護の質向上になお一層の努
力をしてまいります。
本年もどうぞよろしくお願い申し
あげます。



毎月第4木曜日

なめがたエリアテレビに生出演

昨年9月から当病院職員が「なめがたエリアテレビ」に毎月第4木曜日に10分間出演しております。

第1回(9月27日)は院長の亀田が「骨折について」アナウンサーと対談形式で出演しました。医療についてわかりやすく解説していますので是非ご覧下さい。(※当日・翌日に録画再放送があります。)

「生で情報発信!なめこい。」日替わりコーナー出演団体等スケジュール表

- on air (Live) 11:00 ~ 11:45 (※議会中継日 12:15 ~ 13:00)
- on air (再送信) ① 19:15 ~ 20:00 ② 21:15 ~ 22:00 ④ 翌日 6:15 ~ 7:00

区分	コーナー名・出演団体等名				
	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
第1	「働く人の安心・安全・安定」 常陸鹿嶋公共職業安定所	「商工会ニュース」 行方市商工会	「経済部から」 行方市経済部	「映像版あおぞら」 行方市社会福祉協議会	「水産からみた式湖の魅力」 霞ヶ浦北浦水産事務所
第2	「こんにちは!健康増進課です」 行方市健康増進課	「レッツ生涯学習」 レイクエコー	「今日もこいこい」 行方市開発公社	「任せて安心!」 行方市シルバー人材センター	「ニュース教育委員会」 行方市教育委員会
第3	「陸・海・空」 自衛隊茨城地方協力本部百里分駐所	「アントラズ便(収録)」 アントラズホームタウン DMO	「ホッと湯情報」 白帆の湯・北浦荘	「やさい王国なめがた」 JA なめがた	「防犯なめがた」 行方警察署
第4	「消防署からのおしらせです」 行方消防署	「介護予防あれこれ」 行方市地域包括支援センター	「保健所だより」 銚田保健所	「教えて!医療」 土浦協同病院なめがた地域医療センター	「みんなげんき!」 保育園・こども園(各園持ち回り)

※当該曜日が、行方市役所閉庁日にあたる場合は、放送は休止とする。なお、第5週がある場合は、フリー枠として、別途対応する。
 ※当該曜日が、行方市議会本会議中継時間と重複及び重複する可能性がある場合は、放送時間を変更するものとする。
 ※コーナー名は変更になる場合がある。



健診センター 保健師
中川宏美

2018年10月6・7日にJAなめがた感謝祭が開催されました。当院からは血管年齢測定及び健康相談コーナーを開設しました。私が参加した7日は夏日であり、子どもから高齢の方まで汗をかきながら芋ほり体験等を楽しんでいました。毎年の感謝祭で血管年齢を測定している常連の方もおり、数値に一喜一憂している姿が印象的でした。日々、院内で健診業務に携わっていますが、地域の皆さんが生活している場での保健活動も大切にしていききたいと思います。

JAなめがた
感謝祭に参加して

学会報告

第29回日本臨床スポーツ医学会(2018年11月2日・3日・4日)

第52回茨城人工透析談話会(2018年11月4日)

整形外科医師 奥脇 駿

2018年11月2日から3日にかけて北海道・札幌で開催されました第29回日本臨床スポーツ医学会へ参加してきました。本学会はスポーツを通して高齢者から子供たちの健康サポートとスポーツ選手・競技者のより早い復帰・よりよいパフォーマンスを目的として開催されています。私自身は発育期スポーツ選手における腰椎分離症について、競技別の特長や競技復帰について口演発表してきました。活発な議論があり、発育期のスポーツ外傷に関して知見を深めることが出来ました。



看護部 額賀ゆかり

2018年11月4日につくば国際会議場で第52回茨城人工透析談話会が開催されました。

私は、「透析指示及び連絡簿の改訂」という演題で口演発表させていただきました。

この学会では、各分野、各職種からの発表がありました。看護の分野では、フットケアや災害対策、シャント管理、栄養管理など沢山の学びを得ることができたので、今後の透析看護に活かしていきたいと思っております。



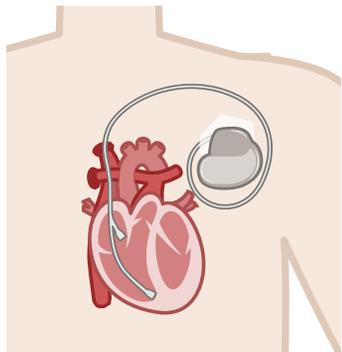


目がてんになる話 第4回 ペースメーカーの話

臨床工学技士は、院内の医療機器のスペシャリスト。医療機器の保守管理・操作を行っています。紙面にて医療機器の少し役に立つお話をします。

ペースメーカーとは、心臓の働きを助ける医療機器です。

臨床工学技士は、外来にてペースメーカーの動作確認の検査をおこなっています。



ペースメーカーの誤作動を起こす原因として「内燃機関から発生する電磁波が影響を与える可能性がある」と言われています。

自動車は、ボンネットが電磁波を遮断してくれますが、トラクターはエンジンがむき出しの車種もあります。

エンジンが作動している際はエンジン部に近づかない様にご注意願います。



ペースメーカーには、ICD（植込み型除細動器）、S-ICD（皮下植込み型除細動器）、CRT-D（植込み型除細動器+ペースメーカー）などがあります。

2018年9月より毎月2回 第2第4金曜日（変動有り）で行なっています。御不明な点はお問い合わせ下さい。臨床工学部

Question 臨床検査 Q&A

～臨床検査技師に聞いてみよう～
「アレルギーについてのQ&A」

最終回

今回はアレルギーについて滝技師にお聞きします。

Q. アレルギーはどうして起きるのですか？

A. 人間の体には細菌やウイルスなどの異物から体を守るために働く防御機能（免疫）が備わっています。この仕組みがときに過敏に反応しすぎて、人間の体にとってマイナスに働く場合があります。この現象がアレルギーです。

Q. どのような症状がありますか？

A. じんましんや鼻水、目のかゆみ、咳、息切れなどさまざまな症状があります。アナフィラキシーと呼ばれる重篤な状態が引き起こされることもあるため、注意が必要です。原因となる物質（アレルゲンといいます）を特定し、日常生活においてそれらを避けるような努力が必要です。

Q. どのように検査するのですか？

A. 採血された血液を分析して検査します。血液中のアレルゲンに対する抗体を測定します。

Q. どのような項目が検査可能ですか？

A. 右の表にある項目の測定を当検査部内で行っています。それら以外の項目も検査センターに委託して測定可能です。「この症状はアレルギーかな？」などありましたら一度医師に相談してみるのはいかがでしょうか。

当院で行っている検査項目

樹木花粉	スギ・ヒノキ
イネ科花粉	ハルガヤ・カモガヤ
雑草花粉	ブタクサ・ヨモギ
ダニ	ヤケヒョウヒダニ・コナヒョウヒダニ
室内塵物	ハウスダスト
昆虫	ゴキブリ
カビ	カンジダ・アルテルナリア
動物	ネコ皮膚・イヌ皮膚
食物	卵白・ミルク・小麦・米・大豆・卵黄・オボムコイド

今回で「臨床検査 Q&A ～臨床検査技師に聞いてみよう～」最終回となります。この連載を通して、臨床検査や臨床検査技師について少しでも興味を持っていただけならうれしいです。ありがとうございました。

臨床検査部



